

# 福祉は文化

## 施設内美術館 新光苑美術館

第6回 小松崎邦雄 女性美の表象



《静思》油彩 F10 《黒扇の踊り子》油彩 P8

女性美をどのように表現するかという主題に向き合うことは、時代を超えて芸術家が挑み続ける宿命の一つである。画家・小松崎邦雄は、その宿命を緻密な構図と安定感のある技法によって温かく受容したと評することができる。

小松崎が描いた女性の眼差しには、画布という枠を超え、現前の世界全体へと通じる、強い意志と情熱が感じられる。女性の表情は時代の流れや社会の様態、人間の可能性に光を当てる鏡となっている。

小松崎邦雄は、昭和6年(1931)、東京、日暮里に生まれた。9歳の時、浦和で料亭を営んでいた叔母の関わりで浦和市長高砂町(現在のさいたま市)に転居し、その後、浦和中学校(現在の埼玉県立浦和高等学校)に入学し、美術教師の山下仙之助に師事。加え、高田誠からデッサンと油彩を学び、同25年、東京藝術大学油画科に入学。卒業制作「群像」が安井賞を受賞し、第16回一水会展に「群像」で初入選を果たした。同31年、藝大油絵専攻科を修了し同大橋賞を受賞。以降、数々の特選を受賞。同43年より翌年までユネスコ・フェローシップ奨学金を得て欧米各国で研鑽を積み、帰国後は一水会の主要画家として名を馳せた。平成4年(1992)12月28日、逝去した。

画風はその丹念な描写性を中心に据え、初期には人物群像を、牛、人形、風景など数年ごとに主題を定め集中して研究・制作を続けた。晩年は舞妓を主に描き、陰影や光の効果に基づく、対象物への高度な描写表現が定評を集め、現実感を超越する雰囲気の小松崎絵画の特徴となった。東京芸術大学講師を務めるなど後進育成に尽力したほか、新聞挿絵や舞台芸術など多岐にわたる分野で活躍した。

着物姿が凛とした「静思」(F10)、妖艶な洋装が特徴の「黒扇の踊り子」(P8)は、ともに小品でありながら、小松崎芸術の極致を表現した名作である。「静思」の主題は舞妓であり、その白肌の透明感と、沈思する表情がセンチメンタルな印象を放つ。黒を基調とした煙びやかな着物の紋様が精緻に描かれ、その色彩美に息を呑む。一方の「黒扇の踊り子」では、立脚する力強さに呼応するように、赤と黒色のコントラストを生かした洋装と扇子の色彩感が際立っている。背景の灰色の混ざり合う空間表現は、女性の表情を誇張し、場面の中に一種の緊張感を与えている。

あたかもモデルの女性が観る者たちに語り掛けるように、または語り掛けずとも沈思の先に一言呟く瞬間のような姿が克明に描かれている。小松崎の美は、そこに佇みモデルとなった女性との無言の対話によって構築され、その空間の雰囲気をも描いていることに気付かされるのである。

参考出典:「小松崎邦雄」日本美術年鑑「平成5年版(331頁)

美術史家 山下祐樹



「地域の課題と取組」講師を日向会長が行いました  
日時:6月14日(水)  
主催:公益財団法人いきいき埼玉  
会場:熊谷市勤労会館1F大ホール  
「地域の課題と取組」人生100年時代における市民活動のす(す)の課題に  
認定NPO法人 彩の子ネットワーク(さいたま市)  
認定NPO法人 フラワービース(鴻巣市)  
認定NPO法人 くまがや小麦の会(熊谷市)  
の3団体が講師を依頼され25分程度の講演を行いました。受講された方は北部学園に入会されている56名のシニアの方で、まだまだ活躍できる場所探しに真剣でした。人生100年時代は来ている実感を受け取りました。小麦の会からは「タウンタウン小麦の最近発刊した2部とクマサブレ、アツベエサブレ、マーブルフロラサブレを配布させて頂きました。熊谷が小麦の本州一位の生産量がある事を、存じなかった方が多く、講演終了後も熱心に質問にいられた方が数名いらっしゃいました。(H)



森田恒友 尾瀬沼

森田恒友は明治14年大里郡玉井村(現熊谷市)に生まれ、20歳の時に画家を目指して上京。東京美術学校(現東京芸大)西洋画専攻科に入学しました。同級生である青木繁や熊谷守一らと研鑽を積み、同大学を首席で卒業されています。青木繁は天才肌、森田恒友は秀才肌お互いをリスペクトしながらも仲が良かったそうです。  
大正3年3月に渡欧し、セザンヌの影響を受けた作品を多く制作しています。帰国後は今も活動を続けている「春陽会」の結成に関わりました。そして、その頃、水墨画や素描の作品も手掛けています。  
昭和4年(現、帝国美術学校(現、武蔵野美術大学)、多摩美術大学の創立にあたり、洋画科主任教授に就任し、後進の指導にあたり、益々の活躍を期待されていました。昭和8年52歳の若さで惜しまれつつなくなりました。  
今回展は恒友の没後90周年を記念しての作品展です。各時代の恒友の絵画表現への情熱を是非ご覧下さい。(O)

# 未来大学

「地域の課題と取組」講師を日向会長が行いました  
日時:6月14日(水)  
主催:公益財団法人いきいき埼玉  
会場:熊谷市勤労会館1F大ホール  
「地域の課題と取組」人生100年時代における市民活動のす(す)の課題に  
認定NPO法人 彩の子ネットワーク(さいたま市)  
認定NPO法人 フラワービース(鴻巣市)  
認定NPO法人 くまがや小麦の会(熊谷市)  
の3団体が講師を依頼され25分程度の講演を行いました。受講された方は北部学園に入会されている56名のシニアの方で、まだまだ活躍できる場所探しに真剣でした。人生100年時代は来ている実感を受け取りました。小麦の会からは「タウンタウン小麦の最近発刊した2部とクマサブレ、アツベエサブレ、マーブルフロラサブレを配布させて頂きました。熊谷が小麦の本州一位の生産量がある事を、存じなかった方が多く、講演終了後も熱心に質問にいられた方が数名いらっしゃいました。(H)

# 日本の風景を追求した画家 森田恒友展

2023年10月28日(土)~12月3日(日)まで熊谷市立図書館3階美術展示室で郷土の画家である森田恒友の作品展が開催されます。

森田恒友は明治14年大里郡玉井村(現熊谷市)に生まれ、20歳の時に画家を目指して上京。東京美術学校(現東京芸大)西洋画専攻科に入学しました。同級生である青木繁や熊谷守一らと研鑽を積み、同大学を首席で卒業されています。青木繁は天才肌、森田恒友は秀才肌お互いをリスペクトしながらも仲が良かったそうです。  
大正3年3月に渡欧し、セザンヌの影響を受けた作品を多く制作しています。帰国後は今も活動を続けている「春陽会」の結成に関わりました。そして、その頃、水墨画や素描の作品も手掛けています。  
昭和4年(現、帝国美術学校(現、武蔵野美術大学)、多摩美術大学の創立にあたり、洋画科主任教授に就任し、後進の指導にあたり、益々の活躍を期待されていました。昭和8年52歳の若さで惜しまれつつなくなりました。  
今回展は恒友の没後90周年を記念しての作品展です。各時代の恒友の絵画表現への情熱を是非ご覧下さい。(O)

# 第10回宮城県気仙沼市立気仙沼小学校訪問のご案内

2011年3月11日14時46分頃発生した東日本大震災から12年が経過しております。本会では日向美津江会長の決断により、7月13日には第一回目の気仙沼小学校訪問を実施し「日本暑假熊谷から来ました。」と各教室を回り、児童ひとり一人に「くまサブレ」5個ずつを手渡しさせていただきました。以来9回の学校訪問をさせていただいております。コロナ禍もようやく季節性インフルエンザと同じ「五類」に移行し、学校でもマスクを外す日常が戻ってきました。今年度は10回目の気仙沼小学校訪問を10月23日(月)に実施することになりました。毎回会員の皆様には多大なご支援ご協力をいただき感謝しております。町民の復興状況を間近に見ながら、今回も子どもたちの明るい歌声に感動の喜びを感じる学校訪問にしたいと思います。是非ご参加ください。是非ご案内申し上げます。(M.M)  
訪問参加と義援金募集  
1 義援金募集 目標額:10万円  
ゆうちょ銀行くまがや小麦の会0012000568915  
2 気仙沼小学校訪問並びに見学日 10月23日(月)  
10周年を記念致しまして、前日10月22日(日)に熊谷を立ち気仙沼より更に北上いたします。花巻温泉に前泊したいと存じます。ご都合で気仙沼小学校訪問だけにご参加下さる方もおいでです。ご検討頂き、対応をお願い申し上げます。  
3 交通費その他費用は参加者負担  
4 申込締切 10月16日(月)  
5 日程と花巻温泉「佳松園」宿泊予定  
お問合せ詳細は事務局まで  
TEL:048-521-7801  
TEL:048-521-7900  
FAX:048-521-7900

# 一粒の麦句会

コロナ禍が下火になった今年三月、うなぎ廣川で久々対面の句会を開く事が出来ました。メール句会ではお互いの意思疎通が中々難しく、季節を活かす事、言葉は「ア」所、など初歩からの見直しをして、対面ならではの充実した座になりました。  
一 春夏の作品から  
空豆を捻じればぼんと顔を出し 近江  
惜春や旅に集る喜寿の顔 梨子  
梶子の白浮き上がる月明かり 春華  
散歩してお茶してひとりの春惜しむ 季香  
枝移りして鶯のくせり鳴き 遊美  
以上 飛鳥蘭 選

三月十八日(土) 廣川にて対面句会

セレモニーホール 埼玉熊谷市の皆様へ  
ゆうえん 亡き人へ心をこめて JAくまがや指定  
0120-136-444  
2才児教室 Little Ricky  
Risho Kindergarten  
森のある幼稚園によこそ 立正幼稚園  
学校法人 熊谷立正学園 認定こども園  
http://www.risho.ed.jp/  
埼玉熊谷市榎井1748-2  
TEL:048-536-1688  
FAX:048-536-2168

立正幼稚園は 令和元年度より 認定こども園 立正幼稚園 となりました  
2才児教室 Little Ricky  
Risho Kindergarten  
森のある幼稚園によこそ 立正幼稚園  
学校法人 熊谷立正学園 認定こども園  
http://www.risho.ed.jp/  
埼玉熊谷市榎井1748-2  
TEL:048-536-1688  
FAX:048-536-2168

吉田・櫻井税理士法人  
税理士 吉田 貴之  
税理士 櫻井 富美子 税理士 吉田 嘉高  
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8  
TEL:048-521-0334 FAX:048-521-4506

くぼじまグループ くぼじまクリニック  
KUBOJIMA CLINIC  
理事長・院長 大島 讓二  
●総合内科(かかりつけ医)  
●人工透析  
〒360-0831 埼玉熊谷市大字久保島1785-2  
電話:048-533-7511(代) FAX:048-533-4606  
http://www.kubojima.com/home.html

一般住宅・工場・官庁等の外壁塗装 株式会社カミノ塗装  
お見積り無料  
お住まいの塗替えをお考え、塗装業者をお探しでしたら、カミノ塗装にお任せ下さい！  
お見積り無料で外壁の状態、お調べします。  
〒360-0022 熊谷市戸出228番地2  
TEL・FAX 048-523-1739  
携帯 090-6119-3045 (担当:上原まで)  
Mail kamino@pg7.so-net.ne.jp

株式会社 平松 代表取締役 日向研一郎  
歴史が育む無限の可能性...地域密着・食品卸売業  
原材料食品は包材まで御用命下さい  
We are HIRAMATSU  
〒360-0801 埼玉熊谷市中奈良1797-1  
TEL:048-521-0026  
●ビッグヘアショッピングモール (埼玉熊谷市代1067)  
●グズデンキ・トイザラス・スポーツオーソリティー・すたみな太郎・大塚軒  
●平松運輸株式会社 (埼玉熊谷市中奈良1797-1)

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします  
熊谷産 小麦の語り  
熊谷産小麦・米 100%使用  
近江屋酒店  
http://www.omyiasaketen.com/  
熊谷市肥塚4-7 TEL:048-521-1009 FAX:048-521-3198

佐藤測量設計株式会社  
本社 〒270-1154 千葉県我孫子市白山2-13-11  
TEL・FAX:04-7182-0207  
東京営業所 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-2  
TEL 03-5216-2377 FAX 03-5216-2376  
技術センター 〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子4-30-8-106  
TEL 04-7100-3015 FAX 04-7186-0207